

令和 4 (2022)年度				年 間 授 業 計 画	
教科・科目		情報		画像処理演習	
2		単位			
対象学年・組		3 年生		必修選択	
教科書 (出版社)		「できるクリエイター-GIMP2.8独習ナビ Windows & Mac OS X 対応」イブレスジャパン 「すぐに作れる ずっと使える GIMPのすべてが身につく本」技術評論社			
学習目標		(1) 情報の効果的な伝達に必要な要素について理解を深める。 (2) ワードプロットで可能な画像処理と画像処理ソフトでなければ不可能な画像処理を理解させる。 (3) ICTリテラシー(情報活用能力, 情報機器のメンテナンス・セキュリティ能力)を向上させる。			
学期	予定 時数	単元	指導内容		具体的な指導目標
1	前半	12	1. 情報の組織化 ①組織化の4原則		◆効率的な情報の伝達について ・情報の組織化の4原則を学習し Wordによるポスター制作を行う。
	後半	12	2. 画像処理 ①オフィスソフトで可能な処理 と不可能な処理 ②画像処理ソフトの基礎・基本 ④画像処理ソフトでなければ 出来ない画像処理		◆Part1 基礎知識編 ◆Part2 写真補正編
2	前半	14	3. 画像処理 ④画像処理ソフトでなければ 出来ない画像処理		◆Part3写真加工編 ◆Part4 お絵描き編
	後半	14	4. DTP処理 ①オフィスソフト等で画像を 含むデータのレイアウト処理 5. 総合実習		◆Part5文字入力編 ◆Part6実践編 ◆総合実習
3	18	5. 総合実習		◆総合実習	◆インターネット上のGIMP2の活用事例を上 手に参照する能力を向上させる。 ◆作品制作の技能を自分から積極的に に学び取る姿勢を身に付けさせる。
評価の観点 (評価基準)		○画像処理ソフトを適切に活用するための基本的事項を確実に理解し、活用できるようになったか、処理速度が向上したかを評価の観点とする。			
評価の方法		○授業内の「提出課題」と「学習状態」を基に評価する。 ○学習状態には、出席状況・授業態度・授業に対する取り組み等が含まれる。			
学習の手引き		○日常から、芸術家のポスターやレタッチ写真等に興味・関心を持つ。 ○インストール不要のポータブル版画像処理ソフトを各自の使えるパソコンに導入し、 画像処理技術を活用する能力・技能を向上させる。 ○画像処理技術を活用した、より良い芸術作品を創造する。			
授業担当者		高橋 聡			